

東日本大震災 名古屋市・区社協 支援活動報告ページ

名古屋市社会福祉協議会、各区社会福祉協議会による支援活動について報告します。



vol1. 岩手県大槌町へ職員を派遣しています！

3月23日から現在に至るまで、本会ならびに区社会福祉協議会の職員を3名ずつ9日間のサイクルで、津波被害が甚大な大槌町に派遣しています。

派遣された職員は、岐阜県・三重県の県内社会福祉協議会職員とともに大槌町社会福祉協議会の支援や災害ボランティアセンターの運営支援、生活福祉資金(緊急小口資金)貸付の相談対応を行っています。

また、上記の派遣スケジュールにあわせて、4月27日～5月10日まで大槌町内における避難所のニーズ調査支援を目的に、いきいき支援センター(地域包括支援センター)、介護保険事業所の専門職(計4名)を本会独自に派遣しました。

今後も当分の間、派遣を継続する予定です。

★大槌町の状況

被害状況:(全て5/4現在)

死亡者 742人

行方不明者 952人

避難所 33ヶ所

避難者 7,109人

津波と火災が発生し、町内全域で甚大な被害を受けました。町役場や社会福祉協議会の事務所も全壊し、社会福祉協議会役員職員30名のうち会長や事務局長を含む8名の方が死亡または行方不明となってしまいました。

現在は、プレハブで、大槌町社協事務所と災害ボランティアセンターを開設し、被災者の支援を懸命に行っています。



地震により、甚大な被害を受けた大槌町



現在の大槌町社協災害ボランティアセンター

★本会職員の活動

全国から集まる団体ボランティアの受け入れや、避難所や被災者のお宅を回り、被災者の困りごと等を聞き取りして、両者をつなぐ役割を果たしています。被災者からの依頼としては、自宅内や敷地内の泥出しが中心ですが、避難所からは散髪やマッサージ、炊き出しなどの依頼があります。

避難生活はまだまだ長く続きそうです。仮設住宅に移る時、移った後も、住民の生活を継続して支援していくことが社協として必要だと感じています。



ボランティアに活動の説明をする職員

Tweet 0

いいね! 3

記事一覧

- [vol10.平成24年度「東日本大震災被災者支援街頭募金3.10」を実施しました！](#)
- [vol11.大槌町社協 小規模多機能型居宅介護施設「ほっと おおつち」落成式に参加しました！](#)
- [vol1. 岩手県大槌町へ職員を派遣しています！](#)
- [vol2. 市民、企業等の多くの方からの義援金を受け入れました！](#)
- [vol3.「東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや」の運営をしています！](#)
- [vol4. 被災地支援ボランティアバスを運行し、現地にボランティアを派遣しました！（第1・2陣）](#)
- [vol5. 被災地支援ボランティアバス【第3陣】を運行しました！](#)
- [vol6. 大槌町社会福祉協議会へ義援金を贈呈しました](#)
- [Vol7. 被災地支援ボランティアバス【第4陣】を運行しました！](#)
- [Vol8.「東日本大震災の被災者を支援したいキモチ」を応援しています](#)
- [vol9. 東日本大震災被災者支援街頭募金\(3.11\)を実施しました！](#)

リンク集

- [名古屋市社会福祉協議会ホームページ](#)
- [名古屋市・区社協登録ボランティア団体情報検索システム「なごやボラねっと」](#)